

結果報告 ①

2310105 令和4年度出雲湖陵道路湖陵IC改良工事



けんせつ小町パトロール隊として、安全衛生面のパトロールを行いました。また、猛暑による熱中症災害が懸念されるのでその対策についても確認を行いました。

この現場はICT技術活用工事であり、様々な新技術を積極的に取り入れておられました。

現場事務所には大型のモニターが設置されており、WEBカメラの映像やダンプの運行管理システムの映像を見ることが出来ました。

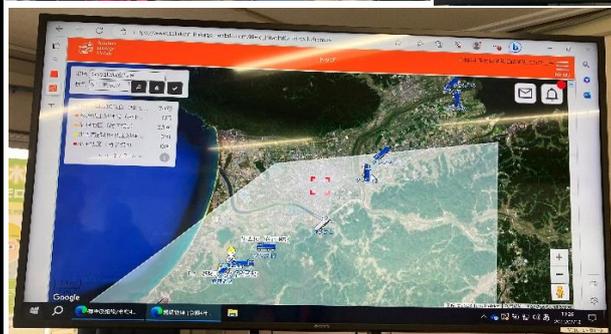
これにより、現場の状況をリアルタイムで把握することができ、見ている映像は記録として残るので、PDCAサイクルを回して効率よく施工ができるよう改善しておられました。

【工事進捗率:22%】

工事概要の説明



熱中症対策(飲料水)



Solution Linkage Mobile

(ソリューション リンケージ モバイル)

このシステムは、ダンプにGPS端末を取り付け、ダンプの位置を地図上に表記してくれる機能やオペレーターのスマートフォンにダンプが積み込み場に接近したら通知してくれる機能があります。他にも、運搬回数や速度超過についても表示されるのでとても便利です。

【指摘事項】 シンクのヌメリや水アカを掃除して下さい。



【提案】 蓋付きのゴミ箱を設置することを検討して下さい。



【指摘事項】 配線を整理して下さい。



【指摘事項】 期限切れの薬を補充して下さい。



現場事務所の男性用トイレの前には目隠し扉が設置されていました。女性には嬉しい配慮です。女性用トイレには木目調のオシャレな快適トイレを設置しておられました。現場職員に女性がおられるので、着替えスペースとしても活用しておられます。この夏はとても暑いのでトイレにもスポットクーラーを設置しておられました。とても快適です。

現場事務所駐車場の周囲は、木製フェンスで区切られており、キレイな景観が維持されていました。



【提案】現場事務所出入口に壁越しではありますが吸殻入れがありました。できれば出入口から離れたところに喫煙所を設けることを検討して下さい。

〈現場および現場周辺の様子〉



この現場は、出雲湖陵道路の湖陵ICにおいて、道路土工及び法面工を施工する工事延長540mの工事です。主な工種の掘削工は、掘削土量70,700m³、最大掘削高さ約10mです。

掘削作業は、ICT建設機器(MG、MC)を搭載したバックホウで行ってられます。これにより、従来施工で設置していた丁張が無くても正確に掘削することが出来ます。設計データと位置情報にズレが生じると施工ミスとなるため、日々位置情報を確認しておられました。

掘削した残土は搬出先まで10tダンプ(約20台)で運搬しますが、運行状況を確認できるシステム(前ページ参照)を活用して、スムーズに施工を行ってられました。



現場には安全垂幕を設置しておられました。小段を通れるように筋交いを高くしておられました。

現場は路肩注意旗やカラーコーンが設置されており、カラフルで分かりやすく注意喚起をされていました。



熱中症対策としてデジタルWBGT計測器を設置しておられました。危険な暑さの際には回転灯が点灯するようになっています。休憩所にも熱中症応急処置キットが設置してありました。



現場出入口には、工事用道路を通行する車両を知らせる回転灯設備がありました。また、現場のダンプにはピンクマークを付けておられました。



【提案】安全通路や作業エリアの明示にカラーコーンだけでなくコーンバー等を使い、境界線を明示することを検討して下さい。



【指摘事項】

休憩所のコンテナ裏に資材が放置されていました。資材置場を設けるか倉庫で保管して下さい。



【指摘事項】

現場に2か所沈砂池が設けられていました。開口部としての注意喚起をして下さい。また、昇降階段である明示をして下さい。



【指摘事項】

現場の資材置場は明示がりましたが囲いはありませんでした。カラーコーンだけでなくバリケード等で囲って下さい。また、細かい物もありますので飛散防止対策もして下さい。

今年は異常気象なので猛暑日が続いています。熱中症災害が起きやすいので、体調管理をしっかりしていただき、無災害で施工されることを心から願っています。皆様ありがとうございました。ご安全に！！